

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(群馬県 令和 2 年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時(平成26年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				計画時(平成26年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
前橋市	関東生乳販売農業協同組合連合会	産地競争力の強化 2 産地合理化の促進 (6)乳業再編等整備 イ 集送合理化等推進整備 (生乳)	再編対象地域内に4施設を廃止し、新たに240 t 処理規模の1施設を新設する。 (廃止施設数、新設数)	4施設→1施設 (廃止→新設)	4施設	1施設	1施設	1施設	100.00%	再編対象地域内にある4施設を廃止し、新たに240 t 処理規模の1施設を新設した。	産地競争力の強化 2 産地合理化の促進 (6)乳業再編等整備 イ 集送合理化等推進整備 (生乳)	CS再編を行うことで、再編地域の集乳路線合計は78コースから59コースとなる。	78コース	80コース	71コース	69コース	59コース	47.37%	19路線を削減する予定であったが、9路線の削減にとどまった。	鉄骨平屋建 563.5㎡ プラント設備 設備一式 排水処理 施設一式	1,013,587,460	220,255,000				793,332,460	平成30年3月15日	貯乳施設の再編整備については、目標どおり実施することができた。 集乳路線数を減らすことでローリー台数を削減し、合理化を目指したが、効果が一部にとどまった。その理由は、 ①酪農家の集乳時間変更が困難：合理的な路線を組むため、集乳時間の柔軟な変更をお願いしたものの、バルク容量の不足や作業時間の変更が難しいことから、一部で集乳時間を変更できなかった。 ②車両の大型化によりコース数の削減を目指したものの、大型車両の運転手を確保することができず、計画した路線削減が実現できなかった。 そのため、引き続き生産者と相談し、集乳時間変更の依頼を継続するとともに、運送業者と情報を共有しつつ、できるだけ早期にローリー大型化を実現する。	貯乳施設の再編整備については、目標どおり実施することができたが、集乳路線の削減を削減することができなかった。目標達成のため、引き続き、課題となっている酪農家の集乳時間の変更及び車両の大型化を進め、集乳路線の見直しを行っていく。	当初計画時から、目標年度は令和元年度(平成31年度)である。

都道府県平均達成率	73.7	総合所見	集乳路線数は、路線の組み替え等により9路線減少したが、計画目標は未達成である。引き続き集乳路線の見直しを行っていく。
-----------	------	------	--

(注) 1 別紙様式 1 号の 2 の 1 に準じて作成すること。
 2 要綱第 3 の 4 の (2) のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。